交通案内



●新大阪・天王寺より、きのくに線（紀勢本線）にて紀伊田辺下車（特急くろしお号で、約2時間）。田辺駅よりバスで、中辺路、本宮にいたる。
●名古屋から、JR紀勢本線で新宮駅下車（特急南紀号で約3時間30分）。新宮駅からバスで田辺市へ。
●紀勢本線新宮駅より本宮行バスあり。
●近鉄大和八木駅より、特急、急行バスにて本宮にいたる。
●羽田空港からJALで南紀白浜空港行に搭乗し、約1時間。バスで田辺市にいたる。

熊野参詣道を歩くときの心得

1. 「人類の遺産」をみんなで守ります。
2. いにしえからの祈りの心をたどります。
3. 笑顔であいさつ、心のふれあいを深めます。
4. 動植物を大切にし、みんなで守ります。
5. 計画と装備を万全に、ゆとりをもって歩きます。
6. 火の用心をこころがけます。
7. ゴミを持ち帰り、きれいな道にします。

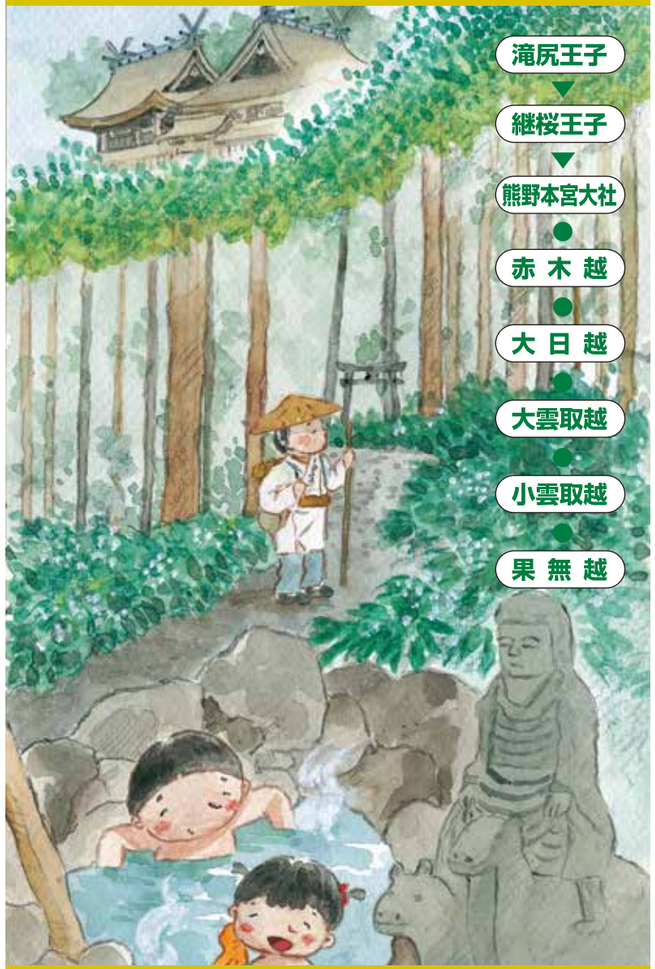
旅のお問い合せは

一般社団法人 田辺市熊野ツーリズムビューロー	TEL.0739-26-9025
田辺市観光センター	TEL.0739-34-5599
田辺市観光振興課・田辺観光協会	TEL.0739-26-9929
田辺市大塔行政局・大塔観光協会	TEL.0739-48-0301
田辺市中辺路行政局	TEL.0739-64-0500
中辺路町観光協会（熊野古道館）	TEL.0739-64-1470
田辺市本宮行政局	TEL.0735-42-0070
熊野本宮観光協会（世界遺産熊野本宮館）	TEL.0735-42-0735
公益社団法人 和歌山県観光連盟	TEL.073-422-4631

■ 監修・藤白神社宮司 吉田昌生　　2019.4

紀州路田辺 世界遺産 熊野古道めぐり地図帳

中辺路 滝尻王子～熊野本宮大社・大雲取・小雲取・果無



和歌山県田辺市
www.tb-kumano.jp

熊野古道マップ

中辺路（滝尻王子～熊野本宮大社）
（熊野那智大社～請川）
小辺路（十津川温泉～熊野本宮大社）



日本の世界遺産

■：自然遺産
●：文化遺産

6 白川郷・五箇山の合掌造り集落【1995年】
5 古都京都の文化財【1994年】
2 姫路城【1993年】
14 石見銀山遺跡とその文化的景観【2007年】
7 広島の平和記念碑（原爆ドーム）【1996年】
8 厳島神社【1996年】
22 長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産【2018年】
21 「神宿る島」宗像・沖の島と関連遺産群【2017年】
3 屋久島【1993年】
19 明治日本の産業革命遺産【2015年】
11 琉球王国のグスク及び関連遺産群【2000年】
12 紀伊山地の霊場と参詣道【2004年】
13 知床【2005年】
4 白神山地【1993年】
15 平泉-仏国土を表す建築・庭園・遺跡群-【2011年】
10 日光の社寺【1999年】
18 富岡製糸場と絹産業遺産群【2014年】
20 ル・コルビュジエの建築作品【2016年】
17 富士山 信仰の対象と芸術の源泉【2013年】
9 古都奈良の文化財【1998年】
1 法隆寺地域の仏教建造物【1993年】
16 小笠原諸島【2011年】

霊場

- 吉野・大峯
- 熊野三山
- 高野山

熊野古道

- 大峯奥駈道
- 中辺路
- 小辺路
- 大辺路
- 伊勢路
- 紀伊路
- 高野山町石道

紀伊山地の霊場と参詣道

■世界遺産について
紀伊山地の熊野三山、高野山、吉野・大峯は、古代以来「南山」と呼ばれ、自然崇拝に根ざした神道、外来の仏教、その両者が結びついた修験道など多様な信仰形態を育んだ神仏の霊場です。
また、熊野参詣道、高野山町石道、大峯奥駈道などの参詣道（古道）とともに広範囲にわたり極めて良好に保全され、山岳・森林と一体となった「文化的景観」を形成しています。
2004年7月、これらの遺産が日本で12番目の世界遺産として登録されました。
田辺は、中辺路と大辺路の分岐点として有名ですが、田辺市域には中辺路・大辺路・小辺路・大峯奥駈道のすべての参詣道が通過しています。

世界遺産「熊野古道めぐり」

今もなお、かつての面影をとどめる熊野古道。道ばたにひっそりとたたずむ王子跡は、いつの時代にも旅人の心のよりどころとなってきました。熊野へ詣でたなら、不思議な力を授かると、中世になると、それは多くの人々の群れが熊野に続きました。その道のりは、苦しみが多いほどご利益も大きいといわれ、こぞって田辺から山中に分け入る険しい中辺路を好んだといわれます。

熊野九十九王子は、熊野に詣でる上皇や女院の休憩所となったところで、滝尻王子から熊野本宮大社に至る約３８キロの間に１９の王子が点在します。なかでも滝尻王子は熊野の霊域への入り口といわれ、人々は万感をこめてここから続く険しい坂を登ったことでしょう。景色のよい高原の里で少し休憩し、ここから山中に深く分け入ります。上多和茶屋跡から大坂本王子へ下り、箸折峠の牛馬童子を経て、清流日置川を渡ると近露王子に到着です。ここで一泊して本宮に向かうのが一般的です。近露を旅立ち、野中の一方杉を経て、中辺路の難所、女坂・男坂、三越峠を越え、発心門王子に向かいます。ここからは比較的起伏の少ない道が続きます。水呑王子、和泉式部のエピソードを伝える伏拝王子などをへて、緑の木立が爽やかな古道を抜けると熊野本宮大社へはあとひと息です。

中辺路の途中、船玉神社の前を流れる音無川を渡り、日本最古の湯の峰温泉に向かい（赤木越）、湯の峰から大日山を越え（大日越）、熊野本宮大社に向かうルートもあります。

熊野本宮大社を参拝後、熊野川を下り熊野速玉大社におまいりし、海岸沿いを辿り、山道に入ると熊野那智大社に参拝します。これで熊野三山への巡礼は成就します。そして、ここから熊野本宮大社をもう一度経て、帰途につきます。この熊野那智大社から熊野本宮大社に向かうコースは、その名の通り雲をつかむほど険しいことから大雲取越といわれ、熊野路随一の難所です。那智山青岸渡寺脇から急な登り坂が続き、そして舟見峠、越前峠を登ります。今度はそこから延々と、胴切坂という坂を下り、楠の久保旅籠跡、円座石をへて小口へ。そして、小和瀬の渡しを渡り小雲取越えを越えて本宮に向かいます。賽の河原地蔵、百間ぐらをへて、熊野本宮大社に向かいます。

十津川温泉から熊野本宮へ向かう果無峠越えは、石畳の道を通って果無の集落に入り、道沿いに点在する三十三ヶ所の観音石仏に励まされながら標高1114mの果無峠を越えます。

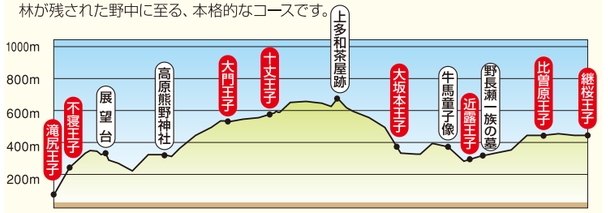
熊野詣の人々は、それぞれの想いを胸に気の遠くなるような旅を経て、ここまで辿り着いたといわれます。そんな古の旅人たちの想いを馳せながら、熊野の自然に触れ熊野古道を辿って行くと、今も変わらぬ願いがよみがえってくるでしょう。

滝尻王子〜継桜王子　16.9km　P4－P7

平安貴族の藤原宗忠が、「はじめて（熊野権現の）御山の内に入る」と記した滝尻王子から、いよいよ熊野三山の聖域に入ります。このコースの特徴はアップダウンが激しいこと。スタート地点の滝尻王子と、最高地点の上多和茶屋跡は約600mの標高差があり、滝尻王子からいきなりの急坂が旅人を驚かせます。

そんな厳しいコースの途中には、藤原秀衡ゆかりの「乳岩」、熊野古道中で最古の社殿が残る「高原熊野神社」、西国観音霊場中興の祖「花山法皇」の旅姿を模したといわれる「牛馬童子像」等様々な見所があり、しばし疲れを忘れさせてくれます。

本宮の手前最後の宿所とされた近露の里で宿泊し、南方熊楠翁の手により見事な杉林が残された野中に至る、本格的なコースです。




滝尻王子


高原からの眺め

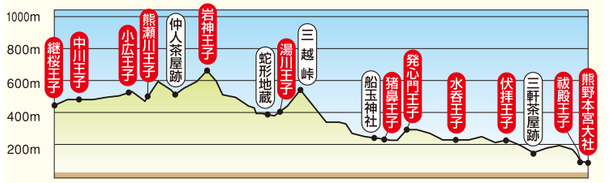

牛馬童子像

継桜王子〜熊野本宮大社　20.8km　P8－P11

見事な杉林が残る、野中をスタートし小広峠から少し古道に分け入れば、そこはもう「木の国」紀州ならではの大森林が広がります。熊野本宮大社に向けて全体的には下りのルートとなりますが、途中「草鞋峠」「岩神峠」「三越峠」等の難所が待ち構えています。

険しい峠を越え、ここからが熊野本宮大社の神域の入口とされる五体王子の「発心門王子」、泉式部が熊野詣での際、ここから大斎原を伏し拝んだと伝えられる「伏拝王子」等、王子社をめぐって「熊野本宮大社」へ。遠く、苦しい道程の末、大社への参拝を果たした、昔の旅人の感動を体験していただけることでしょう。

この区間沿道の小広峠〜熊野本宮大社間は公共交通機関が極めて不便な区間ですので、事前に充分な計画をたてておくことが必要です。



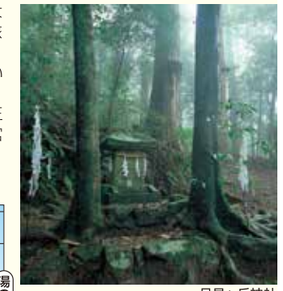

継桜王子にある野中の一方杉


発心門王子


伏拝王子から旧社地を望む

大日越 熊野本宮大社〜湯の峰温泉　3.4km　P13

「熊野本宮大社」から大社の旧社地である「大斎原（おおゆのはら）」を通って熊野参詣の旅人の「湯垢離場」として賑わった「湯の峰温泉」へと抜けるルートです。コースは約2kmと短いものの、大社側には厳しい登りが立ちはだかり、短い間に、月見ヶ丘神社、峠の鼻欠地蔵、湯峯王子等の見所も点在する本格コースで、是非本宮町内に宿泊して歩きたいコースです。

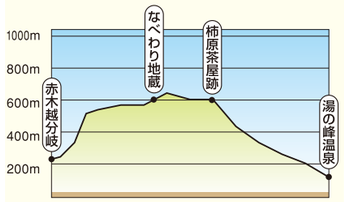

月見ヶ丘神社


大斎原の大鳥居

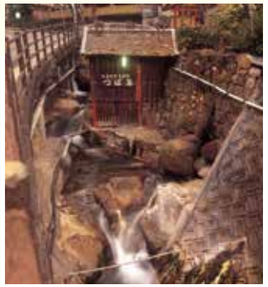

熊野本宮大社

赤木越 赤木越分岐〜湯の峰温泉　5.9km　P12

滝尻王子と熊野三山を結ぶ熊野御幸メインルートの途中、船玉神社から分岐して湯の峰温泉経由で熊野本宮大社に向かうルートが赤木越で、近世には頻繁に利用されたルートです。現在は三越峠から音無川の源流の谷道を下った船玉神社手前から植林帯を右に登るルートが分岐しており、なべわり地蔵や柿原茶屋跡を途中に見ながら、日本最古の温泉といわれる湯の峰温泉へと下ります。

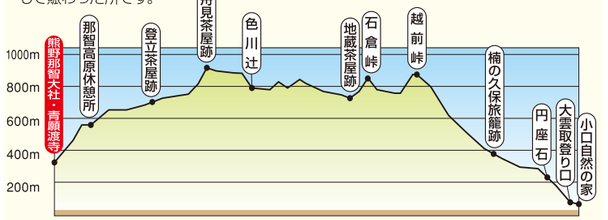



赤木越


世界遺産・湯の峰温泉つぼ湯

大雲取越 熊野那智大社〜小口　14.5km　P14－P15

熊野三山詣でを終えた旅人は、背後に聳える那智・妙法の山を登り、雲の中を行くがごとき、大雲取・小雲取を越えて本宮へと戻ります。青岸渡寺の裏手から、那智高原を越え、その名の通り、熊野灘を一望できる「舟見峠」へと登った後、死者が赴くといわれる標高約800〜1000mの熊野の山塊を進みます。人跡稀な石倉峠、越前峠、胴切坂等の険しいルートの途中には旅籠跡・茶屋跡が点在し、今も旅人の心を和ませてくれます。熊野三山の神々が集まって談笑した場所といわれる「円座石」を過ぎれば、程なくゴールの小口に到着。清流「赤木川」沿いに開けたこの集落は、大雲取と小雲取の中継点として賑わった所です。

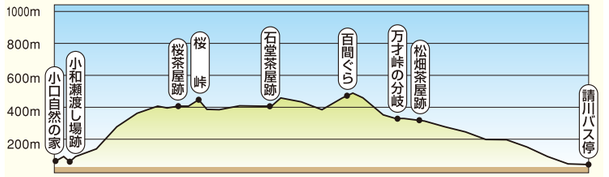



円座石


舟見峠

小雲取越 小口〜請川　13.0km　P16－P17

大雲取を下った小口から程なくの「小和瀬」の集落が小雲取越ルートの起点となります。厳しい登りが続く桜峠を越えると、自然林の中を行く比較的平坦な尾根道となり、ゴールの本宮町請川まで快適なハイキングをお楽しみいただけることでしょう。コース中程にある「百間ぐら」は、山深い紀伊半島の果ての無い峰々を眺望できる名所。ゆっくりと休憩して眺めを堪能したいスポットです。「百間ぐら」から徐々に下って熊野川が前方に開けると、程なくでゴールの請川に到着です。




椎の木茶屋付近からの展望

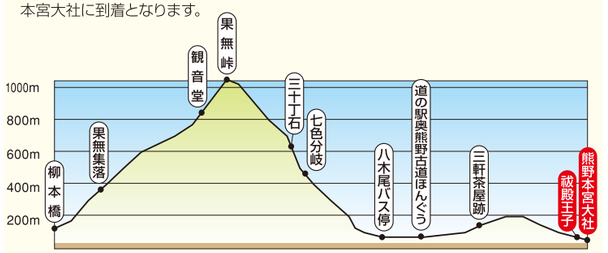

百間ぐら


熊野川（本宮町請川）

十津川温泉〜熊野本宮大社　15.2km　P18－P19

奈良県南部の十津川温泉を起点に、熊野本宮大社をめざします。標高1000m強の果無峠を越える行程はかなり険しいものですが、果無集落から八木尾にかけての峠道には、大正末期に各地の人々の寄進によって西国三十三番札所を模した観音石仏が据えられ、疲れた旅人を導き、癒してくれます。

果無峠への厳しい登りを過ぎ、七色辻まで下れば、奈良県からいよいよ和歌山県へ。八木尾で国道に合流したのち、三軒茶屋跡で熊野古道中辺路街道に合流し、程なく熊野本宮大社に到着となります。

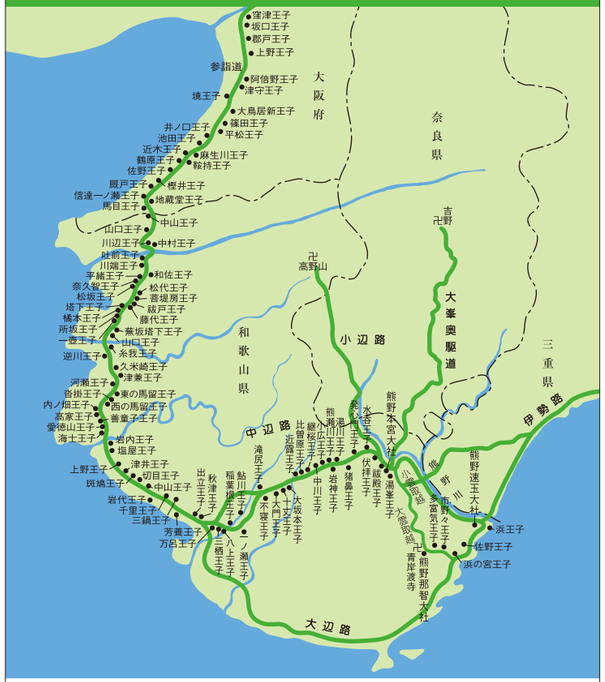



果無集落


古道沿いの西国三十三観音像


三軒茶屋跡付近の道分け石

九十九王子と熊野古道



熊野九十九王子は、京都から熊野三山に至るまでの途次、難行苦行の信仰の道をつなぐために設けられた神社です。熊野権現の御子神を祀る分社であり、水垢離、塩垢離等の禊ぎにより身を清め、心新たに熊野の地を遥拝し、また和歌会や里神楽等の法楽を行い旅の安全を祈願する場でした。

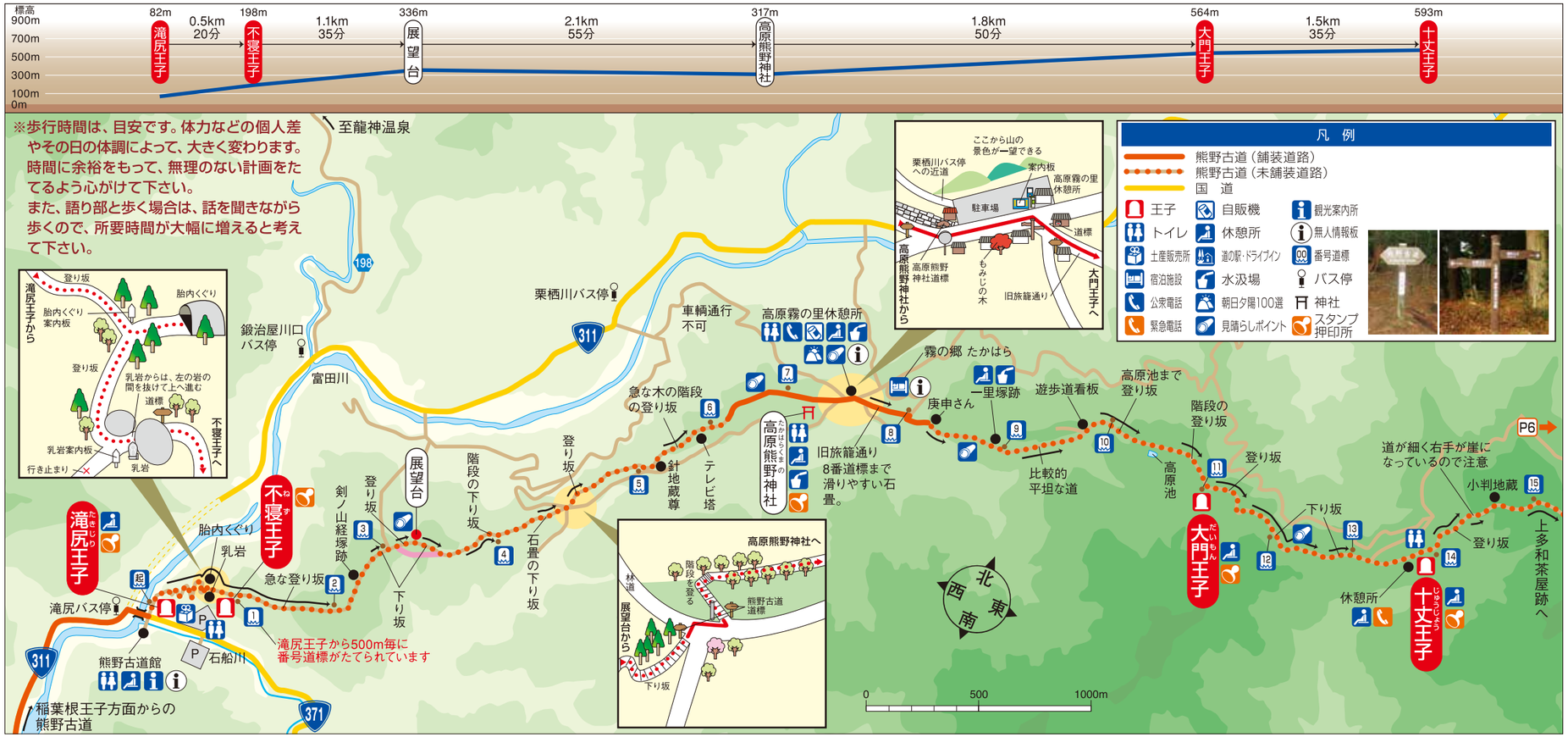
九十九王子は実数でなく数の多いこと、百は熊野三山を指すとも考えられます。王子社の中でも海南市の藤代王子社、印南町の切部（切目）王子社、上富田町の稲葉根王子社、田辺市の滝尻王子社、発心門王子社は、五躰王子社として特に格式が高いといわれています。

平安時代、上皇・法皇の御幸に始まり、鎌倉時代以降は、庶民にまで熊野詣でが広まりました。そして今もなお受け継がれ、世界でも珍しい巡礼道としての世界文化遺産に登録されています。

滝尻王子～継桜王子（田辺市）その1

歩行距離 16.9km
標準歩行時間 7時間10分（野中一方杉バス停まで）
標準所要時間 9時間40分

滝尻王子から、いよいよ熊野の聖域に入り近露へ、そして野中の清水に至るロングコース。いにしえの古道の雰囲気を存分にお楽しみいただけるコースです。



スタート地点までのアクセス

「紀伊田辺駅」からは、明光バス「栗栖川行」又は龍神バス「本宮大社行」または「発心門王子行」に乗車し、「滝尻」バス停で下車（ほぼ1時間に1本の間隔で運行）。
白浜温泉からは、明光バス「新宮駅行」で「滝尻」バス停下車。白浜温泉からは、1日2本の運行となりますのでご注意ください。

■ 紀伊田辺駅から

紀伊田辺駅 ― 明光バス・龍神バス 約40分 ¥960 ― 滝尻

■ 白浜温泉方面から

白浜温泉各停留所内 ― 明光バス 約1時間10分 ― 滝尻

このコースの歩き方

●日帰りで2回に分けて歩く
滝尻～牛馬童子道の駅間、牛馬童子道の駅～野中の清水間を2回に分けて日帰りで歩きます。

●途中で宿泊して歩く
初日に滝尻～近露間を歩き、近露で宿泊。翌日、近露～野中の清水間、又は次のコースの小広峠まで歩いて帰路につきます。

●滝尻王子から熊野本宮大社まで一気に歩く
（1）歩いた後で本宮町にもう一泊。
初日に滝尻～近露間を歩き、近露周辺に宿泊。翌日は早朝に出発して、熊野本宮大社まで一気に歩きます。
（2）1泊2日で歩いた後、そのまま帰路に。
初日に継桜王子まで距離をかせぎ、野中で宿泊。翌日は早朝に出発して、熊野本宮大社まで歩きます。16時30分頃までに熊野本宮大社に到着すれば紀伊田辺駅方面行のバスに、18時00分頃までに到着すれば、新宮駅方面行のバスにご乗車いただけます。

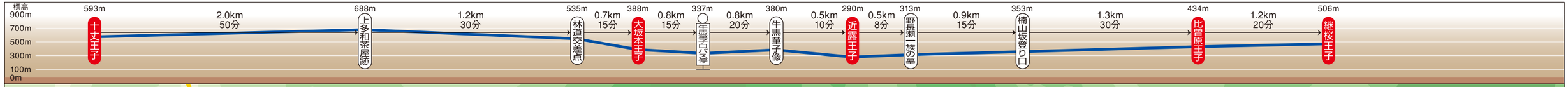
標準の歩行記録（参考行程：見学時間等を含む。中辺路町近露で宿泊し、野中の清水まで1泊2日で歩きました。）

1日目
滝尻バス停 10:00・・・・・熊野古道館 10:01（熊野古道を歩く前に古道館を見学）・・・・・滝尻王子 10:20・・・・・不寝王子 10:30・・・・・展望台 10:45（急坂の途中で長めの休憩）・・・・・高原熊野神社 10:55・・・・・大門王子 11:25・・・・・十丈王子 11:30・・・・・上多和茶屋跡 12:20・・・・・大坂本王子 13:00（霧の里休憩所で昼食休憩：お弁当）
・・・大門王子 13:45・・・・・十丈王子 13:50・・・・・上多和茶屋跡 14:20・・・・・大坂本王子 14:25・・・・・牛馬童子口（道の駅） 15:10・・・・・牛馬童子像 15:15・・・・・近露王子 15:55（少し長めの休憩）・・・・・近露王子周辺の旅館・民宿で宿泊 16:00・・・・・2日目は次ページ 16:40・・・・・16:50・・・・・17:00

滝尻王子～継桜王子（田辺市）その2

歩行距離 16.9km
標準歩行時間 7時間
標準所要時間 9時間20分

滝尻王子からは、番号道標が500m毎に建っているので、目印にして歩きましょう。滝尻王子から2番道標までは、急な登り坂ですが、登り切ると尾根伝いの比較的緩やかな道になり、高原熊野神社へと至ります。高原からは、再び登りとなり最高地点の上多和茶屋跡へ。上多和茶屋跡から一気に下り、牛馬童子の像を越えると、古道の宿場として栄えた近露へと入ります。王子社や野長瀬一族の墓を眺めた後、楠山坂を登って継桜王子へ。この付近には、野中の一方杉や全国銘水百選にも選ばれた野中の清水、秀衡桜等多くの見所が点在しています。

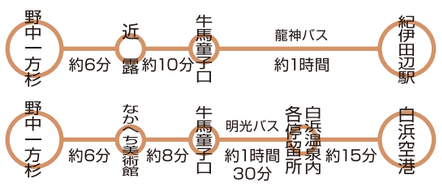




お帰りは

「牛馬童子口」、「近露」、「野中」の3箇所から、龍神バスを利用して「紀伊田辺駅」へ戻ることが出来ます。（1日4～5本程度の運行）
白浜方面へは、上記の各箇所から、明光バスが1日2本運行しています。（うち1本が白浜空港行き）野中地区では、国道311号沿いの「野中一方杉」バス停を通ります。

■ 牛馬童子口・近露・野中一方杉バス停から



宿泊情報

お問い合わせ
中辺路町観光協会
0739-64-1470

近露王子を中心とした近露周辺に、旅館・民宿が点在している他、継桜王子周辺の野中地区にも民宿があります。いずれのお宿も小規模で、地元の食材を使った料理と、親切なおもてなしをモットーにしています。

標準の歩行記録（参考行程：見学時間等を含む。中辺路町近露で宿泊し、野中の清水まで1泊2日で歩きました。）

2日目
近露王子 9:00 ・・・・・・ 野長瀬一族の墓 9:08 ・・・・・・ 比曽原王子 9:15（楠山坂を登った所で小休止） 10:05 ・・・・・・ 継桜王子 10:10 ・・・・・・・・ とがの木茶屋 10:30 10:50（雄大な野中の一方杉で休憩・萱葺き屋根のお茶屋で写真撮影） 10:51 ・・・ 野中の清水 11:05 ・・・・・・ 野中の清水バス停 11:07 11:40（清水周辺で昼食休憩：お弁当） 11:41

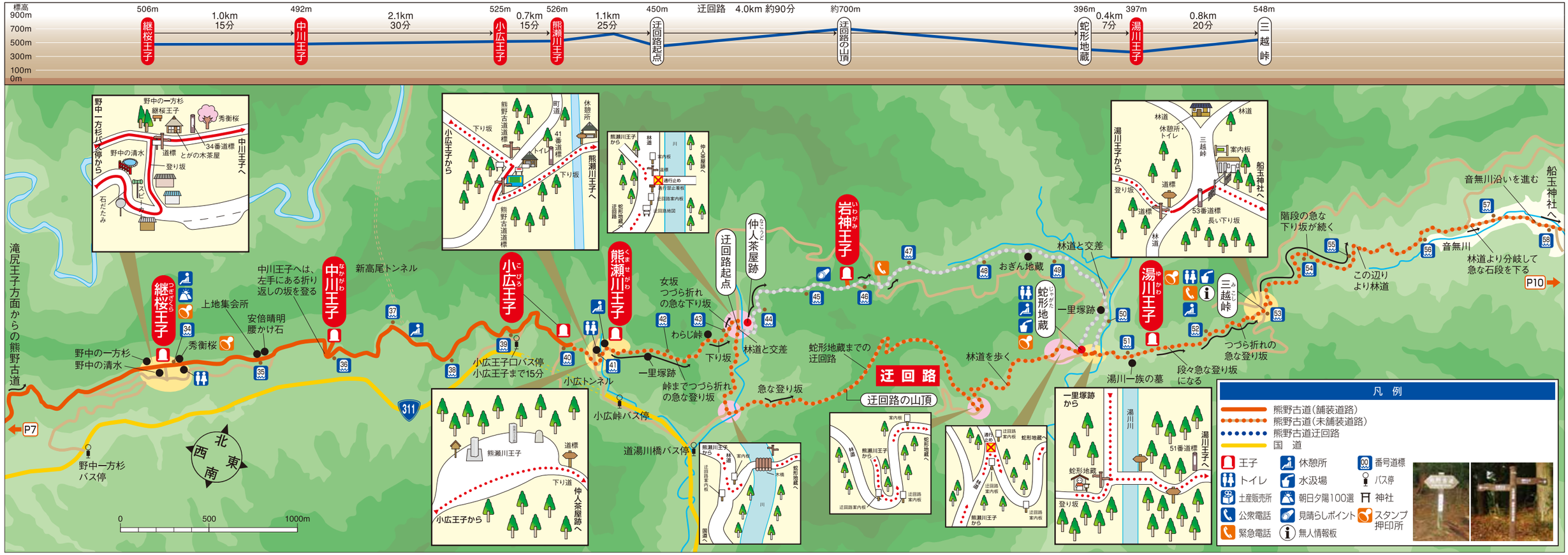
11：45頃発のバスで紀伊田辺駅へ
（注意）バスの本数が少ないので、事前に時刻表をチェックしておくことをおすすめします。

継桜王子（つぎざくら）～熊野本宮大社（くまのほんぐうたいしゃ）（田辺市）その1

歩行距離22.1km
標準歩行時間 7時間00分
標準所要時間 8時間50分

野中の清水から、わらじ峠、岩神峠、三越峠と峠越えを繰り返しながら熊野本宮大社をめざします。古道の雰囲気が色濃く残る、ロングコースです。

起点となる継桜王子から小広王子までの間は、比較的平坦な旧国道311号を進みます。小広王子からは、いよいよこのコースのハイライト、わらじ峠・岩神峠・三越峠への急峻な道。途中途中に点在する王子社や、清流を眺めながら進みましょう。小広峠から先は、公共交通機関・宿泊施設が極端に少なくなりますので、一日で一気に歩いてしまうよう計画をたてるほうが良いでしょう。



スタート地点までのアクセス

「紀伊田辺駅」からは龍神バス「本宮大社行」行」又は「発心門王子行」に乗車し、野中一方杉バス停で下車。

■ 紀伊田辺駅から

紀伊田辺駅 ― 龍神バス 約1時間15分 ― 野中一方杉

このコースの歩き方

●野中周辺に宿泊して翌日一気に熊野本宮大社へ
1日目は夕方に野中周辺に入り、ここで一泊。
翌日は早朝に出発して熊野本宮大社まで歩きます。
（注）
このコースは小広峠から先、熊野本宮大社まで公共の交通機関が極端に少なくなりますので、注意が必要です。

●前のコースと合わせて一気に歩く
(1) 歩いた後で本宮町にもう一泊。
初日に前コースの途中の近露まで歩き、近露周辺に宿泊。
翌日は早朝に出発して熊野本宮大社まで一気に歩きます。
(2) 前コースと本コースを1泊2日で一気に歩く。
初日に継桜王子まで距離をかせぎ、野中で宿泊。
翌日は早朝に出発して、熊野本宮大社まで歩きます。

標準の歩行記録（参考行程：見学時間等を含む。前日に中辺路町野中入りし、継桜王子周辺で宿泊。翌日熊野本宮大社まで1泊2日で歩きました。）

1日目 紀伊田辺駅から路線バスで野中一方杉バス停に17時30分頃到着

野中一方杉バス停・・・・・継桜王子横にあるお宿へ　中辺路町野中で宿泊
17:35　18:05

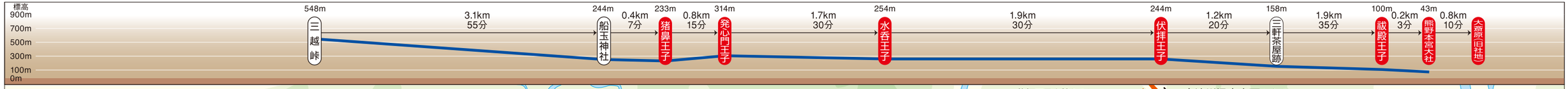
2日目 継桜王子・・・・・・中川王子・・・・・・小広王子・・・・・熊瀬川王子・・・・・迂回路起点・・・・迂回路の山頂・・次ページへ
7:00　7:15　7:20　7:50　7:55　8:10　8:15　8:40　8:45　9:30　9:40
（秀衡桜も見学）

継桜王子(つぎざくら)～熊野本宮大社(くまのほんぐうたいしゃ)(田辺市) その2

歩行距離 22.1km
標準歩行時間 7時間00分
標準所要時間 8時間50分

野中の清水から、わらじ峠、岩神峠、三越峠と峠越えを繰り返しながら熊野本宮大社をめざします。古道の雰囲気が色濃く残る、ロングコースです。

猪鼻王子を過ぎ急な坂を登ると、五躰王子のひとつに数えられる発心門王子社。ここから先は、いよいよ熊野本宮大社の神域となります。発心門王子から熊野本宮大社までの間はなだらかな下り坂が中心で、歩きやすく整備されており、昔の旅人が初めて熊野本宮大社を望み、有難さに伏して拝んだといわれる伏拝王子等多くの見所が点在しています。これらの見所を過ぎて、いよいよ熊野本宮大社へ。歩いてお詣りしたという達成感をゆっくりと味わってください。





お帰りは

熊野本宮大社でゴールし、「紀伊田辺駅」、「白浜空港」、「新宮駅」の各ターミナルへの路線バスを利用します。
また、「本宮大社前」発午前中限定で、「五条駅」・「大和八木駅」方面行のバスもあります。
時間があれば、ぜひ大斎原まで足を伸ばしてみて下さい。

■ 紀伊田辺駅へ
本宮大社前 — 龍神バス 約2時間 — 紀伊田辺駅

■ 白浜温泉・白浜空港へ
本宮大社前 — 明光バス 約2時間 — 各自温泉停留所内 — 約10分 — 白浜空港

■ 新宮駅へ
本宮大社前 — 熊野交通・奈良交通 約45分～1時間20分 — 新宮駅

ご宿泊の方は

お問い合わせ
熊野本宮観光協会 0735-42-0735

本宮町内には、日本最古の温泉ともいわれ、熊野詣の湯垢離場としても栄えた湯の峰温泉、大塔川の河原に湧く、野趣溢れる温泉として人気の川湯温泉、大露天風呂が人気の渡瀬温泉と、趣きの異なった3つの温泉地があり、それぞれに旅館・民宿が集まっています。
熊野本宮大社からは、熊野交通、奈良交通、龍神バスの3社が、三湯経由の路線バスを運行しています。

標準の歩行記録(参考行程:見学時間等を含む。前日に中辺路町野中入りし、継桜王子周辺で宿泊。翌日熊野本宮大社まで1泊2日で歩きました。)

2日目

前ページから ・・・蛇形地蔵(10:10) ・・・湯川王子(10:15) ・・・三越峠(10:22) ・・・船玉神社(10:25) ・・・猪鼻王子(10:35) ・・・発心門王子(12:50) ・・・水呑王子(13:00) ・・・伏拝王子(13:30) ・・・三軒茶屋跡(13:35) ・・・祓殿王子(14:05) ・・・熊野本宮大社(14:15) ・・・大斎原(熊野本宮大社旧社地)(15:23) 熊野本宮大社に参拝し紀伊田辺駅行(または新宮駅行)のバスで帰路につく。(15:31)

(11:25 12:20 昼食のため小休止:お弁当 12:25 12:32 12:35)
(王子からの眺望を楽しむ 14:35 14:40 15:15 15:20)

赤木越（あかぎごえ） 赤木越分岐～湯の峰温泉（田辺市）

歩行距離　5.9km（赤木越区間）
標準歩行時間　1時間50分（赤木越区間）
標準所要時間　2時間00分（赤木越区間）

●このコースの歩き方
起点の赤木越分岐へは、公共の交通機関はありません。熊野本宮大社を出発して、伏拝王子・発心門王子経由で起点に至り、赤木越を歩いて湯の峰温泉に下るルートと、湯の峰温泉を起点にして、赤木越を通り中辺路ルートに合流後、小広峠へ抜けるルートとがあります。



ご宿泊の案内

本宮町内には、趣きの異なった3つの温泉地がありますが、このルートの散策には、湯の峰温泉での宿泊が便利です。
ハイキングの前日、又はハイキング後に湯の峰温泉で宿泊するのが一般的です。

標準の歩行記録〔参考行程：見学時間等を含む。熊野本宮大社を起点に熊野古道（中辺路ルート）を赤木越分岐へ。その後赤木越を通り、湯の峰温泉で宿泊〕

熊野本宮大社・・・・・祓殿王子・・・・・三軒茶屋跡・・・・・伏拝王子・・・・・水呑王子・・
12：00　12：03　12：05　12：45　12：50　13：15　13：25　13：55　14：00
（大社周辺で昼食をとってから出発）　（眺望の名所で休憩）

・・・・発心門王子・・・・・猪鼻王子・・・・・赤木越分岐・・・・・なべわり地蔵・・・・・
14：30　14：40　14：50　14：55　15：05　15：50　15：55
（五躰王子をゆっくり見学）　（いよいよ赤木越えに入る）

・・・・柿原茶屋跡・・・・・・・・湯の峰温泉　湯の峰温泉で宿泊
16：15　16：20　17：05

大日越（だいにちごえ） 熊野本宮大社～湯の峰温泉（田辺市）

歩行距離 3.4km
標準歩行時間 1時間10分
標準所要時間 1時間45分

●このコースの歩き方
熊野本宮大社から大斎原（熊野本宮大社旧社地）を経由して、大日越登り口へ。そこから1時間強で湯の峰温泉へ。距離は短いものの比較的厳しいコースです。ゴールの湯の峰温泉からは、紀伊田辺駅、新宮駅等のターミナルへ路線バスの便があります。



ご宿泊の案内

本宮町内には、趣きの異なった3つの温泉地があります。このルートの散策には、湯の峰温泉での宿泊が便利ですが、徒歩約30分で渡瀬温泉へ、約45分で川湯温泉へ行くことが出来ます。

標準の歩行記録（参考行程：見学時間等を含む。熊野本宮大社を起点に大日越へ、その後湯の峰温泉で宿泊）

熊野本宮大社・・・・・・・・大斎原・・・・・・大日越登り口・・・・・月見ヶ丘神社・・・
14：30　14：40　14：55　15：00　15：20　15：30
（大社旧社地をゆっくり見学）　（急坂の途中で小休止）

・・鼻欠地蔵・・・・・・湯峯王子・・・・・・湯の峰温泉（湯筒）散策後湯の峰温泉で宿泊
15：40　15：45　16：05　16：10　16：15
（湯筒で温泉ゆで卵を作りました）

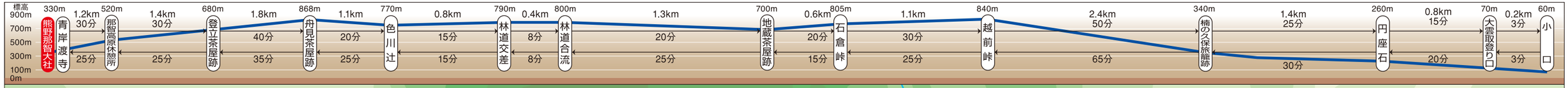
大雲取越 熊野那智大社（那智勝浦町）～小口（新宮市熊野川町）

歩行距離 14.5km
標準歩行時間 5時間10分
標準所要時間 7時間00分

熊野那智に挑む。

大社・青岸渡寺に参拝の後、妙法・大雲取の山麓に分け入るルート
雲の中を行くがごとき厳しい坂道を越え熊野川町小口の里へ。

西国三十三観音霊場一番札所青岸渡寺裏側の登り口を入るといきなり厳しい石階段が続きます。那智高原、登立茶屋跡を過ぎ、一気にこのコース随一の眺めを誇る舟見峠へと登り詰めます。ここではその名の通り雄大な熊野灘を存分に眺めたいものです。舟見峠からは小刻みなアップダウンを繰り返して越前峠へ。越前峠からは「胴切坂」と呼ばれる急坂を降りて、熊野川町小口の里へ下ります。厳しい道が続く本格コースですが途中の峠からの眺めや苔生した石仏、石畳等から神秘の国「熊野」を強く感じ取っていただけることでしょう。





スタート地点までのアクセス

「紀伊勝浦駅」、または「那智駅」から熊野交通で「那智山」バス停下車。下車後、那智大社・青岸渡寺まで徒歩約10分程です。

■ JR紀伊勝浦駅から

紀伊勝浦駅 —約8分— 那智駅 —熊野交通 約20分— 那智山

このコースの歩き方

お問い合わせ
新宮市観光協会 0735-22-2840
那智勝浦町観光協会 0735-52-5311

●熊野那智大社から小口に向かって歩く
前日に勝浦温泉に宿泊し、小口に向かって歩きます。小口に到着後は夕方のバスで新宮市街に戻る方法と、熊野川町小口に宿泊し、翌日、小雲取を越えて本宮町請川から熊野本宮大社へと歩く方法があります。

●小口から熊野那智大社に向かって歩く
前日、熊野川町小口に宿泊し、熊野那智大社に向かって歩きます。大阪方面に戻られる方は16:00頃までを、名古屋方面に戻られる方は、15:00頃までを目途に熊野那智大社に到着しておく必要があります。

お帰りは

熊野川町小口で宿泊し、翌日小雲取を本宮町まで歩く方法と、小口から熊野交通バスでJR新宮駅へ出る方法があります。小口～新宮駅間は、朝1本夕1本の直通バスがあります。（一部区間運行のバスもあり、途中「神丸」バス停で乗り換え、新宮駅方面に戻ることもできます。）

■ 小口から新宮駅へ

小口 —熊野交通 約55分— 新宮駅

標準の歩行記録（参考行程：見学時間等を含む）

熊野那智大社・青岸渡寺・・・・那智高原・・・・・登立茶屋跡・・・・・舟見茶屋跡・・
9:00　9:30　9:35　10:05　10:10　10:50　11:05
（雄大な熊野灘の眺めを堪能）

・・・色川辻・・・・・・地蔵茶屋跡・・・・・・石倉峠・・・・・・・越前峠・・・
11:25　11:30　12:15　13:00　13:20　13:25　13:55　14:05
（ここで昼食休憩：お弁当）　（険しい山道を登りきり休憩）

・・楠の久保旅籠跡・・・・・円座石・・・・・小口
14:55　15:05　15:30　15:40　16:00

ハイキング終了後
小口エリアで宿泊
翌日は小雲取越に挑戦

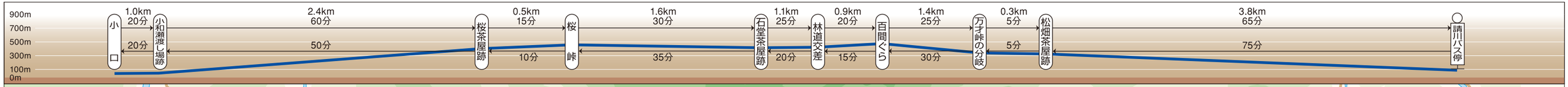
小雲取越 小口（新宮市熊野川町）～請川（田辺市本宮町）

歩行距離 13.0km
標準歩行時間 4時間25分
標準所要時間 5時間35分

熊野川町　アップダウンも少なく、木立の中快適なハイキングをお楽しみいただけます。

小口から、桜峠を越えて本宮町請川へ。大雲取に比べれば、比較的

熊野川町小口から、県道をしばらく歩き、小和瀬へ。ここ小和瀬が小雲取越の起点になります。小和瀬から古道に入ると途中の桜茶屋跡までは、急な登り坂が続きます。桜峠を越えればこの小雲取越コースは比較的快適な尾根道が続きます。途中で現れる茶屋跡で歴史に思いを馳せ、百間ぐら等の眺望の名所で奥深い熊野の風景を愛でながら歩き、雄大な熊野川の流れを望めばゴールの請川はもうすぐです。





スタート地点までのアクセス

大雲取を歩いて熊野川町小口でお泊まりいただくのが一般的ですが、スタート地点の小口へは、「新宮駅」から1日2本運転している直通バスを利用してアクセスすることもできます。（直通バスは早朝1本、午後1本の運転。）（「新宮駅」から本宮大社方面行きのバスに乗車し、「神丸」バス停で下車。「神丸」バス停で「小口」行きの区間運転バスに乗り換えることも出来ます。1日4本の運転。）

■ 新宮駅から

新宮駅 ― 熊野交通 約55分 ― 小口

このコースの歩き方

お問い合わせ
熊野本宮観光協会 0735-42-0735

●小口から請川に向かって歩く
前日に小口に宿泊し、請川に向かって歩きます。請川に到着後は路線バスで新宮市街に行く方法と、請川から熊野本宮大社まで国道168号線を歩く方法と、請川から路線バスで熊野本宮温泉郷へ行く方法があります。

●請川から小口に向かって歩く
前日に請川、熊野本宮温泉郷に宿泊し、小口に向かって歩きます。小口に到着後はバスで新宮市街、田辺市本宮町に戻る方法と、小口に宿泊し翌日大雲取を越えて熊野那智大社へと歩く方法があります。

お帰りは

■ 本宮町内から紀伊田辺駅へ

本宮大社前 ― 約5分 ― 請川 ― 約5分 ― 川湯温泉 ― 約1分 ― 渡瀬温泉 ― 龍神バス 約1時間50分 ― 紀伊田辺駅

■ 本宮町内から新宮駅へ

本宮大社前 ― 約18分 ― 渡瀬温泉 ― 約2分 ― 川湯温泉 ― 約6分 ― 請川 ― 熊野交通 約1時間 ― 新宮駅

標準の歩行記録（参考行程：見学時間等を含む。小口エリアで宿泊し早朝スタート ちなみに前日は大雲取越を歩きました。）

熊野川町小口 8:00 ・・・・・・ 小和瀬 8:20 ・・・・・・ 桜茶屋跡 8:25 ・・・・・・ 桜峠 9:25 ・・・ 9:35 ・・・ 9:50
（急坂を登り終えて長めに休憩）

・・・石堂茶屋跡 10:20 ・・・・・ 林道交差 10:25 ・・・・・ 百間ぐら 10:50 ・・・・ 万才の峠分岐 11:10 ・・・ 11:20 ・・・ 11:45
（眺望の名所で休憩）

・・・松畑茶屋跡 11:50 ・・・・ 請川バス停 12:30 ・・・ 13:35
（昼食の小休止：お弁当）

この後、川湯温泉まで歩いて旅館のお風呂で入浴。その後、紀伊田辺駅行きのバスで紀伊田辺駅へ。

十津川温泉（奈良県十津川村）～熊野本宮大社（田辺市本宮町）その1

歩行距離 15.2km
標準歩行時間 6時間00分
標準所要時間 7時間30分

十津川温泉から熊野本宮大社へ、小辺路の最終ルート。
三十三観音に見守られながら果無峠を越え、いざ本宮へ。

高野から熊野本宮大社へと続く小辺路の最後の峠越えとなるこのコースは、今も古道の雰囲気を残しています。特に果無峠の登りには石畳も残っており、地元の信者によって祀られた三十三体の観音石仏は、峠を行く人々を見守ってくれています。ハードなコースの中にも古道を感じられる区間です。



スタート地点までのアクセス

近鉄大阪線「大和八木駅」を起点に、近鉄南大阪線「高田市駅」、近鉄御所線・JR和歌山線「御所駅」、JR和歌山線「五条駅」を経由して、十津川温泉方面に運行している奈良交通のバスを利用し、（五条駅～十津川温泉間にも区間運行あり）「十津川温泉」バス停下車。
バス停周辺に旅館・民宿が集まっている他、少し離れた上湯温泉にもお宿があります。

■ 大阪方面から



ひとくちメモ

このコースを歩くには、前日に十津川温泉に入り、十津川温泉で宿泊。翌日早朝に熊野本宮大社に向かって歩き、熊野本宮大社参拝後、紀伊田辺駅又は、新宮駅経由でお帰りになる行程を組む方法と、本宮に到着した後、熊野本宮温泉郷（湯の峰・川湯・渡瀬）に宿泊する方法があります。

お問い合わせ：熊野本宮観光協会 0735-42-0735
：十津川村観光協会 07466-3-0200

標準の歩行記録（参考行程：見学時間等を含む。十津川温泉で宿泊し、起点柳本橋から歩きました。）

十津川温泉バス停	柳本橋	果無集落	観音堂	果無峠	三十丁石	七色分岐	林道出合	八木尾バス停	道の駅奥熊野古道ほんぐう	平岩口バス停
7:30	7:40	8:25	9:25	9:30	10:00	10:20	11:10	11:20	11:40	11:45
12:25	12:30	13:00	13:40	14:00	14:10	14:15	14:55	15:00		

（急坂の途中で休憩）
（道の駅食堂で遅めの昼食）

三軒茶屋跡 → 祓殿王子 → 熊野本宮大社
15時過ぎのバスで紀伊田辺駅を経由して大阪方面へ戻りました

十津川温泉（奈良県十津川村）～熊野本宮大社（田辺市本宮町）その2

歩行距離 15.2km
標準歩行時間 6時間00分
標準所要時間 7時間30分

果無峠を越えてからは、ひたすら下ります。急なところもあるので、足元に充分注意しましょう。八木尾のバス停まで降りると、熊野本宮大社までは、「平岩口」というバス停まで国道沿いに進みます。国道から右にそれ、三軒茶屋跡で中辺路ルートに合流すれば、目的地熊野本宮大社まではあと一息です。



凡例

- 熊野古道（舗装道路）
- 熊野古道（未舗装道路）
- 国道
- 王子跡
- 番号道標
- トイレ
- コンビニ・食料品店
- 土産品販売所
- 公衆電話
- 自販機
- 休憩所
- 道の駅
- 朝日夕陽100選
- 見晴らしポイント
- 三十三観音
- バス停
- スタンプ押印所

お帰りは

「本宮大社前」バス停でゴールし、大阪方面へは龍神バス紀伊田辺駅行に乗車し、「紀伊田辺駅」からJRきのくに線を利用します。名古屋方面へは、熊野交通または奈良交通バス新宮駅行に乗車し、「新宮駅」からJR紀勢本線を利用します。
（「紀伊田辺駅」へ戻られる場合は、遅くとも16時30分頃までに熊野本宮大社へ）

■ 熊野本宮大社から大阪方面へ

本宮大社前 ― 龍神バス 約2時間 ― 紀伊田辺駅 ― JRきのくに線・特急 約1時間50分 ― 天王寺駅

■ 熊野本宮大社から名古屋方面へ

本宮大社前 ― 熊野交通・奈良交通 約1時間5分～約1時間25分 ― 新宮駅 ― JR紀勢本線・特急 約3時間15分 ― 名古屋駅

ひとくちメモ

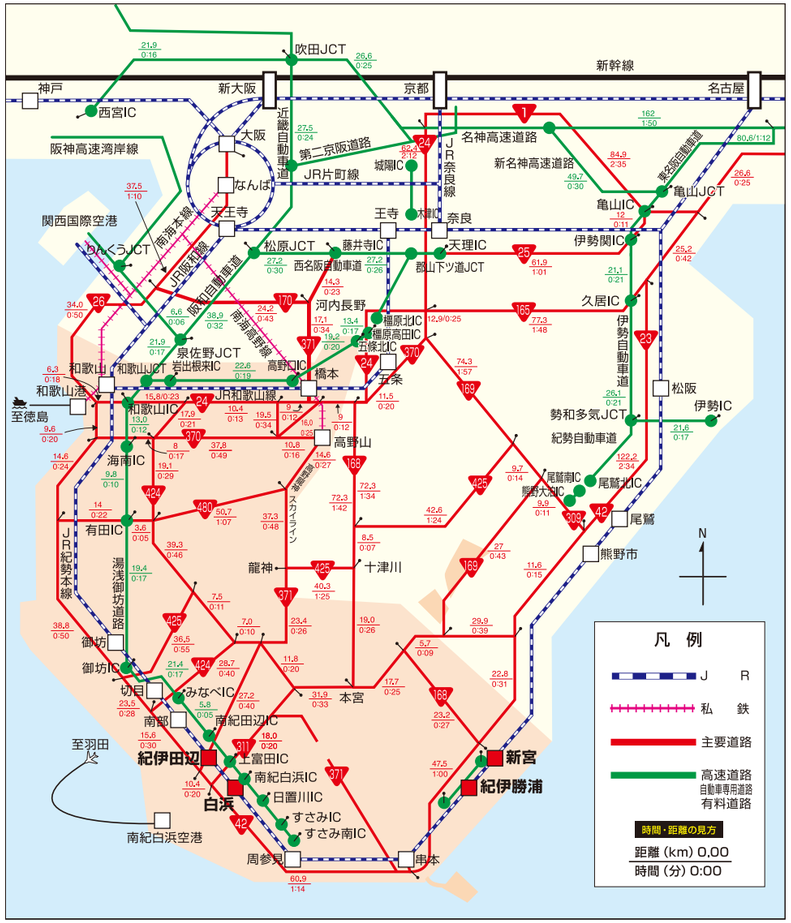
●ハイキングの後に本宮町内でもう一泊するのもおすすめ・・・

十津川温泉の出発を遅めにして、本宮町内でもう一泊するのもおすすめです。本宮町内には、湯の峰温泉・渡瀬温泉・川湯温泉と、特色の異なる3つの大きな温泉地があります。

これらの温泉で宿泊し、翌日、本宮町内の熊野古道を歩き、紀伊田辺駅・新宮駅等のターミナルを経由し、お帰りになるのもよいでしょう。

お問い合わせ：熊野本宮観光協会 0735-42-0735

熊野古道［中辺路］アクセスガイド



電車

■JRきのくに線（特急くろしお号）
JR西日本お客様センター TEL.0570-00-2486

京都 ― 約25分 ― 新大阪 ― 約40分 ― 日根野 ― 約20分 ― 和歌山 ― 約65分 ― 紀伊田辺 ― 約10分 ― 白浜 ― 約105分 ― 新宮 ― 約195分 ― 名古屋

空路

■日本航空（JAL）
TEL.0120-25-5971
（JAL）
南紀白浜空港 ― 約1時間10分 ― 羽田空港

熊野古道への交通アクセス （運賃は平成29年9月現在）



主要バス停までの運賃（龍神バス）

紀伊田辺駅～滝尻	960円
紀伊田辺駅～牛馬童子口	1,290円
紀伊田辺駅～近露王子	1,380円
紀伊田辺駅～野中一方杉	1,470円
紀伊田辺駅～小広峠	1,540円
紀伊田辺駅～請川	2,000円
紀伊田辺駅～渡瀬温泉	1,890円
紀伊田辺駅～湯の峰温泉	1,940円
紀伊田辺駅～川湯温泉	1,900円
紀伊田辺駅～本宮大社前	2,060円
紀伊田辺駅～発心門王子	2,290円

主要バス停までの運賃（明光バス路線バス・快速「熊野古道号」）

紀伊田辺駅～滝 尻	960円
紀伊田辺駅～栗栖川	1,050円
白浜温泉（白浜バスセンター）～滝 尻	1,360円
白浜温泉（白浜バスセンター）～野中一方杉	1,800円
白浜温泉（白浜バスセンター）～本宮大社前	2,300円
白浜温泉（白浜バスセンター）～志 古	2,600円

主要バス停までの運賃（熊野交通）

新宮駅～請川	1,360円
新宮駅～川湯温泉	1,540円
新宮駅～渡瀬温泉	1,540円
新宮駅～湯の峰温泉	1,540円
新宮駅～本宮大社前	1,540円
新宮駅～小口	1,250円
那智山～紀伊勝浦駅	620円

熊野古道
龍神バス
明光バス
熊野交通
奈良交通
明光バス熊野古道特急バス

※（ ）のバス停は明光バスのバス停名です

列車の運転時刻・運賃に関するお問い合わせ先
JR西日本お客様センター 0570-00-2486

路線バスの運転時刻・運賃に関するお問い合わせ先

龍神バス	0739-22-2100
明光バス	0739-42-3378
熊野交通	0735-22-5101
奈良交通	0742-20-3100